

黒崎尚敏先生のご退官によせて

黒崎先生はじめ、トータルハードマネジメントサービスの皆さまおよび関係者の皆さま、大変ご無沙汰しております、栃木の寺内です。本来であれば、退官記念パーティに馳せ参ずる予定でありましたが、残念ながら新型コロナの影響でかないませんでした。よって、大変遅くなってしまいました。改めましてお祝いと黒崎先生への感謝の意を表すために、筆を取りたいと思います。

まずは簡単に近況の報告をさせていただきます。北海道を離れてあっという間に4年間が過ぎ、いろいろありましたが栃木で元気に過ごしております。皆さまに育てて頂いた経験は今も日々の診療に活かされ、仕事は非常に順調です。有り難いことに顧客も少しずつ増えていきます。三人の子宝にも恵まれ、一昨年には次男が乳児突然死症候群で亡くなるという経験も致しましたが、艱難辛苦をもって人生の甘酸辛苦澁が整うと信じ、家族が健康であることの喜びを日々噛みしめています。長男は3歳半、三男は間もなく5ヶ月です。私もすっかり頭髪と腹回りが年齢に見合っただけです。



次男の1歳の誕生日に植えた梅の木を囲んで

私がTHMSを初めて訪れたのは2012年10月だったと思います。そこから約3年半、とくに前半は多くの農家さんに迷惑をかけ、会社にも著しく迷惑をかけました。仕事でも仕事以外でも出来損ないだった私が、今いっばしの開業獣医師としてやっていけているのは、間違いなく、8年ほど前にどこの馬の骨ともわからない私を黒崎先生が拾ってくれたおかげです。実はその当時は、帯広畜産大学に研究生として所属しながら、大学とは別の牧場で毎日搾乳や給餌をしていたのですが、牧場の社長と合わず半年で辞め、行き場を失っていました。そんな折、黒崎先生は「問題のある人間かも知れない」という前置きのある紹介にもかかわらず、「とりあえず来てみなさい」と私を受け入れてくださりました。案の定、多くの問題を起こし、正直消えたいと思う時期すらありましたが、黒崎先生はじめTHMSの皆さんは誰も私のことを諦めたり蔑むことなく叱ってくださり、農家の皆さまにも忍耐強く見守って頂き、そのおかげで私自身が私を諦めることもなく、卒業の時まで過ごすこ

とが出来ました。別海町にいる間に恩返しは全くできなかったのですが、代わりに栃木にて目の前の農家さんとこの業界に貢献することを信条として仕事をしております。



チームで仕事をするのがたまに懐かしく、羨ましくなります。

栃木で仕事をするうえで、2つのことを大切にしています。ひとつはTHMSの看板に泥を塗らないよう、「さすが」と言ってもらえるような仕事をする事。もうひとつは、黒崎先生に何度も言われた「消極的な失敗はダメだ。挑戦した結果の失敗は良い、前向きにやれ」ということです。迷ったらやる、難しいと感じても農家さんに説明の上で提案する、そういった積極的な姿勢を現場でも評価してもらっている実感があります。

此度、潔く退官された黒崎先生の背中に、私は勝手ながら何かバトンを受け取ったような気がしています。まだまだ若輩の未熟者ですが、トータル精神の後継者の一人として、今日よりも明日もう一步農家の役に立つために努力し、地域の農家と手を取りながら積み上げてまいります。黒崎先生、本当にありがとうございました。今後とも益々お元気にお過ごしいただき、引き続きご指導を賜りたいと存じます。

黒崎先生の長年の功績を称えるとともに、THMS、カーフサービス、エンブリオサービス、農家の皆様のご多幸と永続的な発展を祈念しまして、ご退官のお祝いの言葉とさせていただきます。ぜひまたお目にかかる日を楽しみにしています。

寺内動物病院
寺内宏光